

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	風荷重小委員会	主 査 名：植松 康 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「建築物荷重指針」の改定(2015 年 2 月), 構造物の合理的耐風設計・耐風性能評価法の普及, 最新の情報交流と風工学研究の進展。</p> <p>初年度: 「建築物荷重指針」改定作業。「実務者のための建築物外装材の耐風設計マニュアル」の刊行と講習会の開催。</p> <p>2 年度: 「建築物荷重指針」の改訂作業。構造本委員会査読用原稿の完成。</p> <p>3 年度: 「建築物荷重指針」の出版と講習会の準備。</p> <p>4 年度: 「建築物荷重指針」のフォローアップ作業。風荷重算定ソフトの作成並びに「建築物の風応答・風荷重評価/CFD ガイドライン」(仮称)の編集作業。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無: 無	
	<p>主査: 植松 康 (東北大学)</p> <p>幹事: 谷口徹郎 (大阪市立大学), 大竹和夫 (竹中工務店)</p> <p>委員: 奥田泰雄 (国土技術政策総合研究所), 片岡浩人 (大林組), 片桐純治 (泉創建エンジニアリング), 河井宏允 (東京電機大学), 菊池浩利 (清水建設), 近藤宏二 (鹿島建設), 田村哲郎 (東京工業大学), 寺崎 浩 (大成建設), 西村宏昭 (京都大学), 松井正宏 (東京工芸大学), 吉江慶祐 (日建設計)</p>	
設置 WG (WG 名: 目的)	<p>設計風速 WG: 設計風速の合理的設定法の検討</p> <p>風応答 WG: 風応答とその荷重評価法の検討</p> <p>風力係数・風圧係数 WG: 設計用風力係数および風圧係数の充実</p> <p>CFD 風荷重評価 WG: 風荷重評価への CFD の応用法の検討</p> <p>風疲労 WG: 変動風力による建築構造および外装材の疲労損傷評価法の検討</p> <p>実大ストームシミュレータ検討WG: 実大ストームシミュレータの設計(課題抽出と対策)</p>	
2014 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無: 無 委員会 HP アドレス:

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 建築物荷重指針・同解説 (荷重運営委員会傘下 7 小委員会で共同)
講習会	1. 2014 年度日本建築学会支部共通事業「建築物荷重指針」改定講習会 (荷重運営委員会傘下 7 小委員会で共同) 参加者数 1,114 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 建築物荷重指針の改定作業・講習会は予定通り終了した。</p> <p>2. 「建築物荷重指針を活かす設計資料 2 - 建築物の風応答・風荷重評価/CFD 適用ガイド」の編集作業を開始した。</p> <p>3. CFD による風荷重評価ガイドラインの骨子は完成し、詳細を検討中。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 委員がやや固定化 (→WG では若手や女性委員を登用している)</p> <p>2. WG 数が多いため委員会活動費が不足 (→メール審議等の利用)</p>